
記者資料提供（平成31年2月1日）

地方独立行政法人神戸市民病院機構

（公表事案について）

神戸市立医療センター西市民病院事務局医事課 重松・宮崎

TEL：078-576-5251

（公表に関する指針について）

法人本部経営企画室総務課 藤原・伊藤

TEL：078-940-0156

神戸市立医療センター西市民病院におけるインフルエンザ院内感染について

今回の事例に関しては、公表が他の医療機関の院内感染防止に資すると判断される事例と判断したために公表いたします。

なお、公表に当たっては患者さん及びご家族が特定・識別されないよう、個人情報の保護に最大限の配慮を行いつつ、事案の内容について一定の範囲で公表を行っています。

【公表事案】

発生年月日：平成31年1月31日

発生場所：神戸市立医療センター西市民病院

発生状況と経緯：

外来受診患者でインフルエンザ感染者が増加し、インフルエンザ感染による入院患者も増加していたため、1月11日から入院患者さんの面会禁止の措置を行っている。

1月27日に入院中の患者さんがインフルエンザA型を発症したため、発症した患者さんを隔離し、同室者の当該患者さんに対して、タミフルの予防投与を行った。

しかし、1月28日から発熱を認め、検査の結果インフルエンザA型陽性であったため、隔離・治療を行い1月29日から解熱傾向にあったが、1月31日に原疾患の肺炎、膿胸により死亡された。

なお、インフルエンザ感染については、医療者側の対応も適切であって、直接死因に影響を及ぼしたものではないが、傷病の経過に影響を及ぼしていないことを否定できないため、保健所への届出を行った。

今後の対策：

従来より、院内感染対策の徹底を行ってきたが、今後とも一層の感染防止対策に取り組んでいく。